



平成30年1月16日

春日・大野城・那珂川消防本部

警防課警防救助係

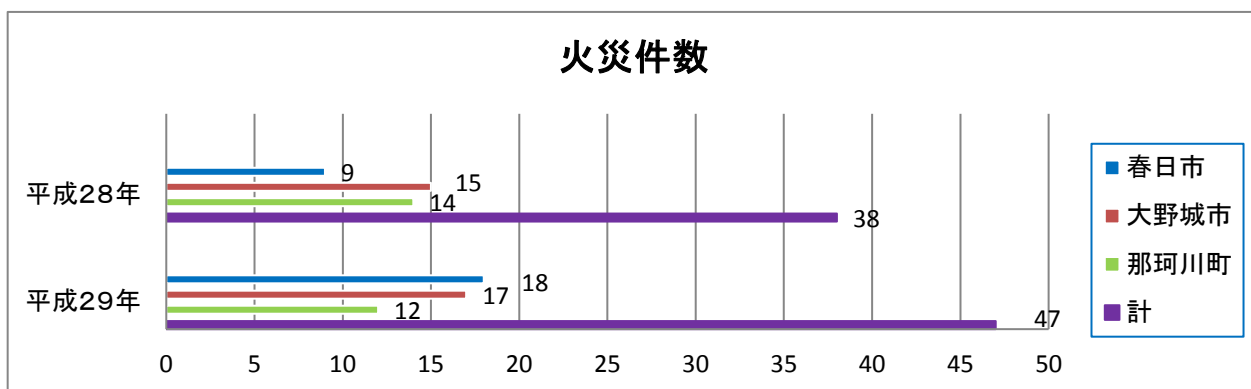
## 平成29年中の火災・救急・救助概要(速報)

平成29年1月1日から12月31日まで

### 1 火災の概要

#### (1) 火災件数

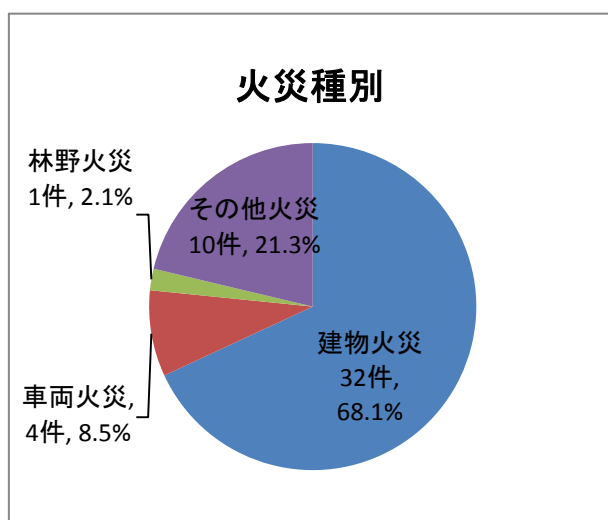
平成29年中に発生した火災件数は47件であり、これは前年と比較して9件の増加である。これを市町別に比較すると、春日市は18件で前年より9件増加、大野城市は17件で前年より2件増加、那珂川町にあっては12件で前年より2件減少している。



#### (2) 火災種別

火災件数47件の内訳は、建物火災32件(全体の68.1%)が最も多く、次いでその他火災の10件(同21.3%)、車両火災4件(同8.5%)、林野火災1件(同2.1%)となっている。

前年と比べ、建物火災が8件増、車両火災が3件増、林野火災が1件増、その他火災は3件減少している。



#### (3) 焼損面積

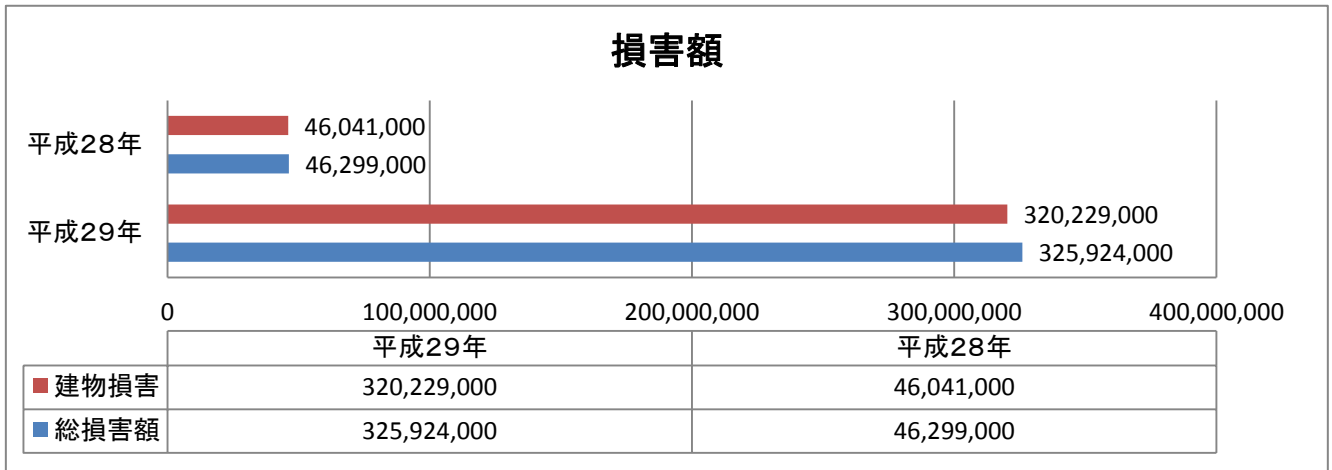
建物火災において焼損した面積の合計は874㎡で、前年の353㎡と比べ521㎡の増加となっている。

なお、大幅に増加した要因は前年と比べ、建物火災件数が8件増加しているためである。

#### (4) 損害額

火災による総損害額は325,924千円で、前年の46,299千円と比べ279,625千円の増加となっている。

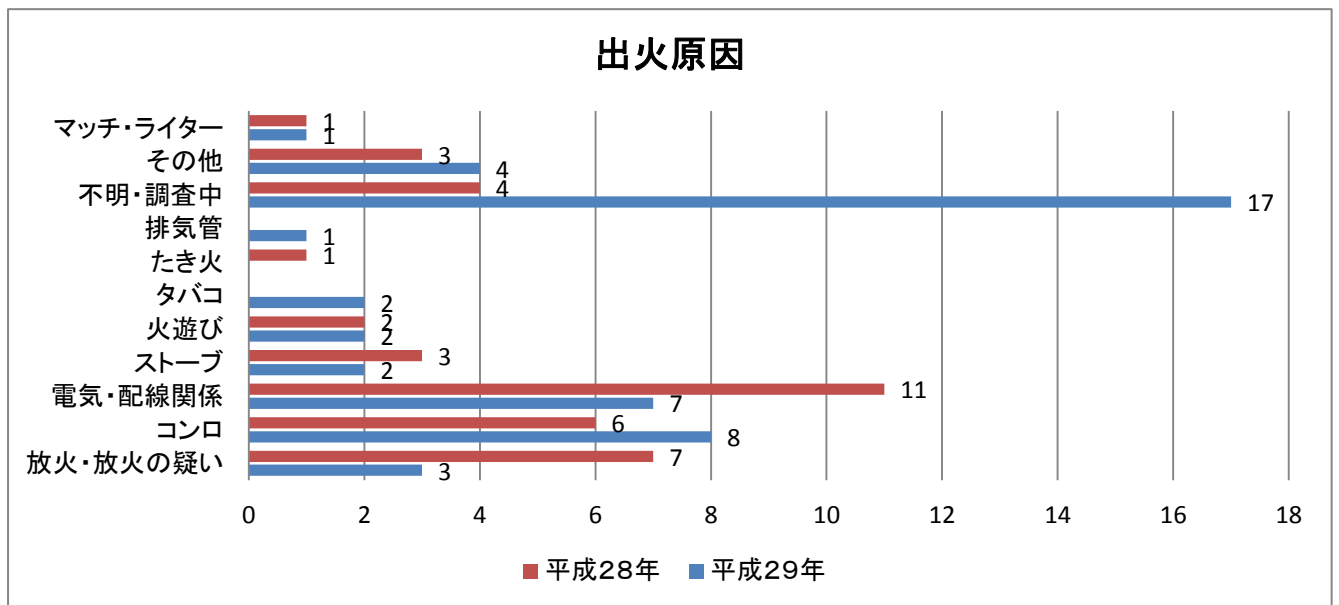
なお、損害額が多かった要因は、総損害額の3分の2以上を占める工場火災の発生によるものである。



#### (5) 出火原因

出火原因上位は「コンロ」8件、「電気・配線関係」7件、「その他」4件、「放火・放火の疑い」3件となっている。

前年の出火原因上位は「電気・配線関係」11件、「放火・放火の疑い」7件、「コンロ」6件「ストーブ」、「その他」がそれぞれ3件となっている。



#### (6) 火災による死者・負傷者

前年同様に、火災による死者は無しである。

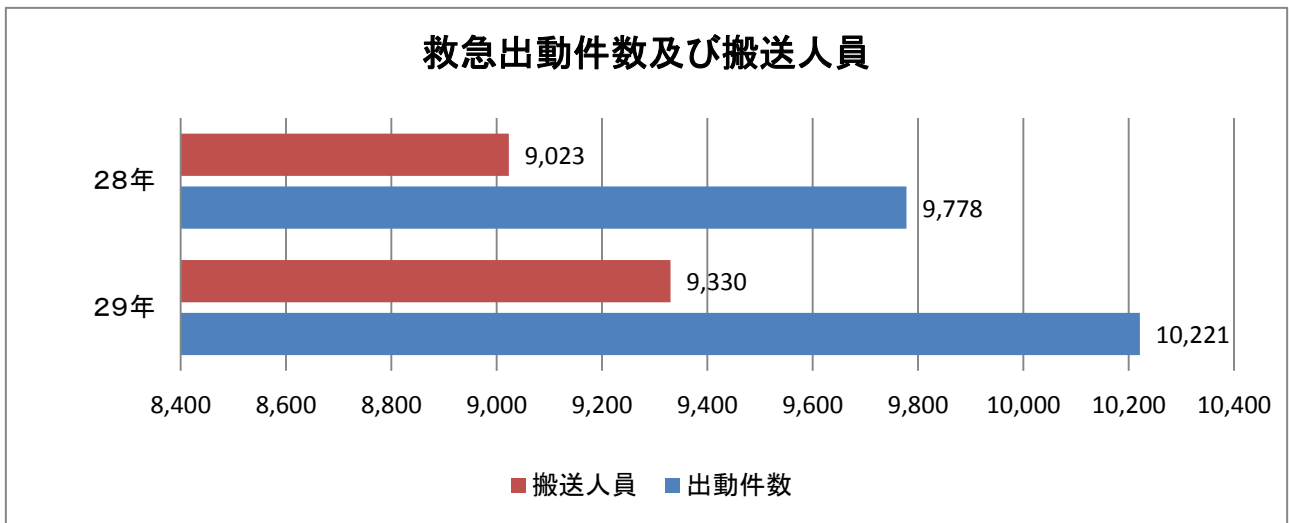
火災による負傷者は8人で、全て建物火災で負傷している。

## 2 救急の概要

### (1) 救急出動件数及び搬送人員

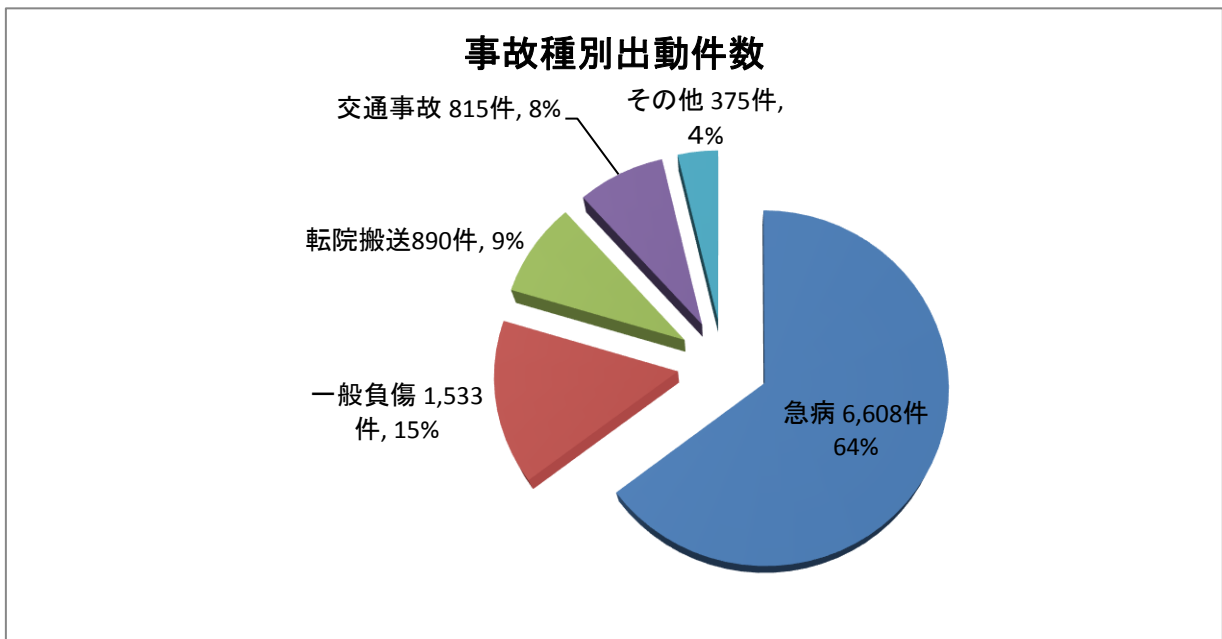
平成29年中の救急出動件数は10,221件で、前年の9,778件と比べ443件(5.0%)増加し、1日平均約28件出動している。救急搬送人員は9,330人で前年の9,023人と比べ307人(3.4%)増加し、管内住民の約28人に1人が救急車を利用したことになる。

市町別の救急出動件数は、春日市4,319件、大野城市3,820件、那珂川町2,076件、管外6件となっている。



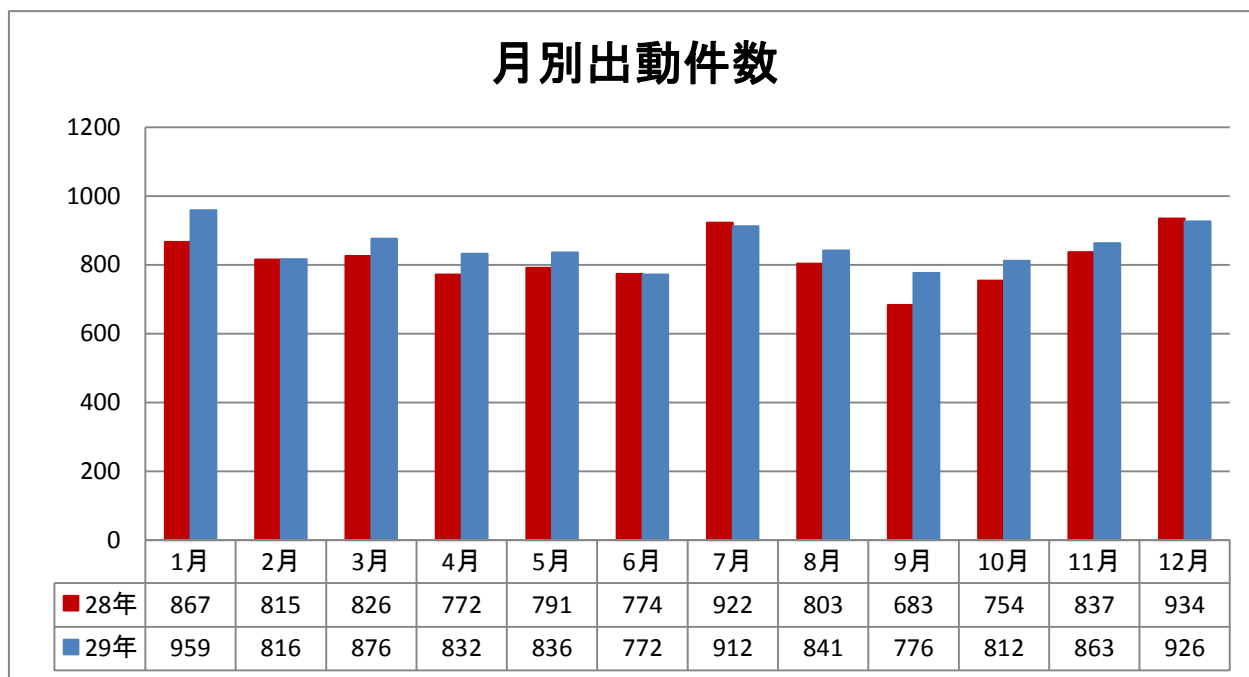
### (2) 事故種別出動件数

事故種別では、急病による救急出動が6,608件(64%)と最も多く、次いで一般負傷1,533件(15%)、転院搬送890件(9%)、交通事故815件(8%)、その他375件(4%)となっている。



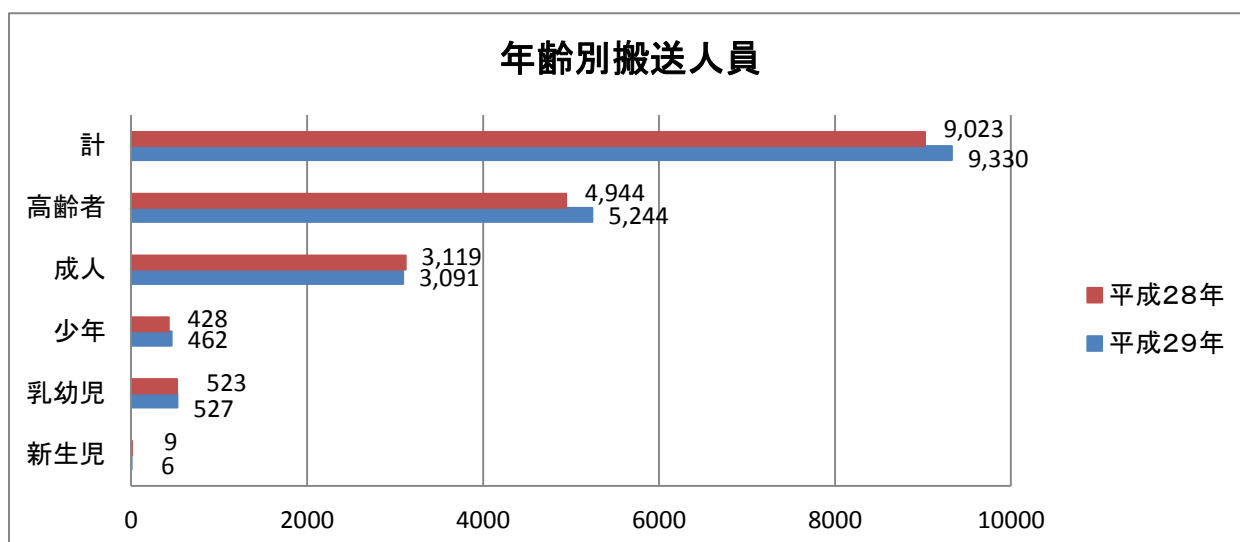
### (3) 月別出動件数

救急出動件数を月別で見ると、1月が959件で最も多く、次いで12月が926件となっている。前年と比べると、1月から5月と8月から11月が増加し、6月・7月・12月が減少している。



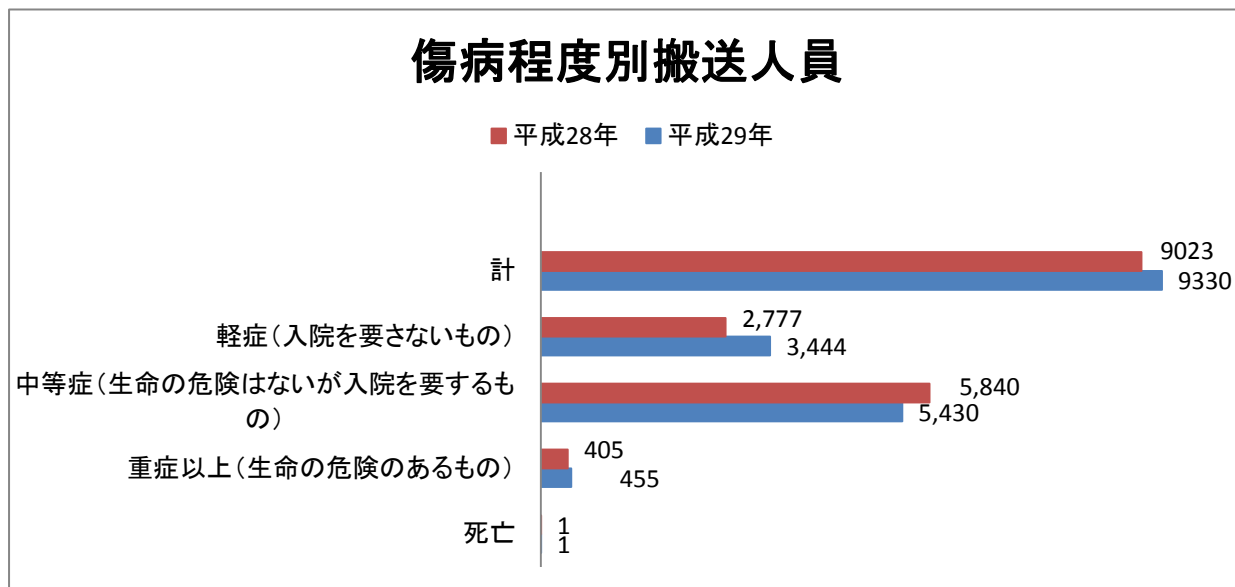
### (4) 年齢別搬送人員

搬送人員を年齢別で見ると、高齢者(65歳以上)が5,244人(56.2%)で、前年と比べると300人(6.1%)増加しており、成人(18歳以上65歳未満)が3,091人(33.1%)で、前年比28人(0.9%)の減少、少年(7歳以上18歳未満)が462人(5.0%)で前年比34人(7.9%)増加している。乳幼児(28日以上7歳未満)は527人(5.6%)で、前年比4人(0.8%)の増加、新生児(生後28日未満)については6人(0.1%)で、前年比3人(33.3%)減少となっている。



## (5) 傷病程度別搬送人員

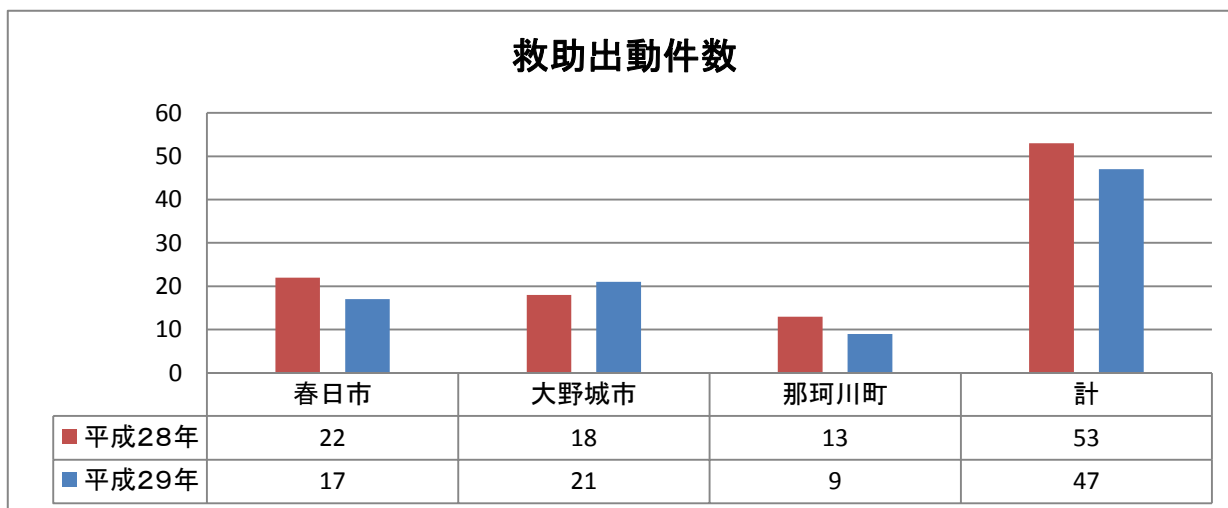
平成29年の搬送人員を傷病程度で見ると、軽症は3,444人(36.9%)、中等症は5,430人(58.2%)重症以上は455人(4.9%)となっている。  
入院を要しない軽症者の割合は、全体の3割以上を占めている。



## 3 救助の概要

### (1) 救助出動件数

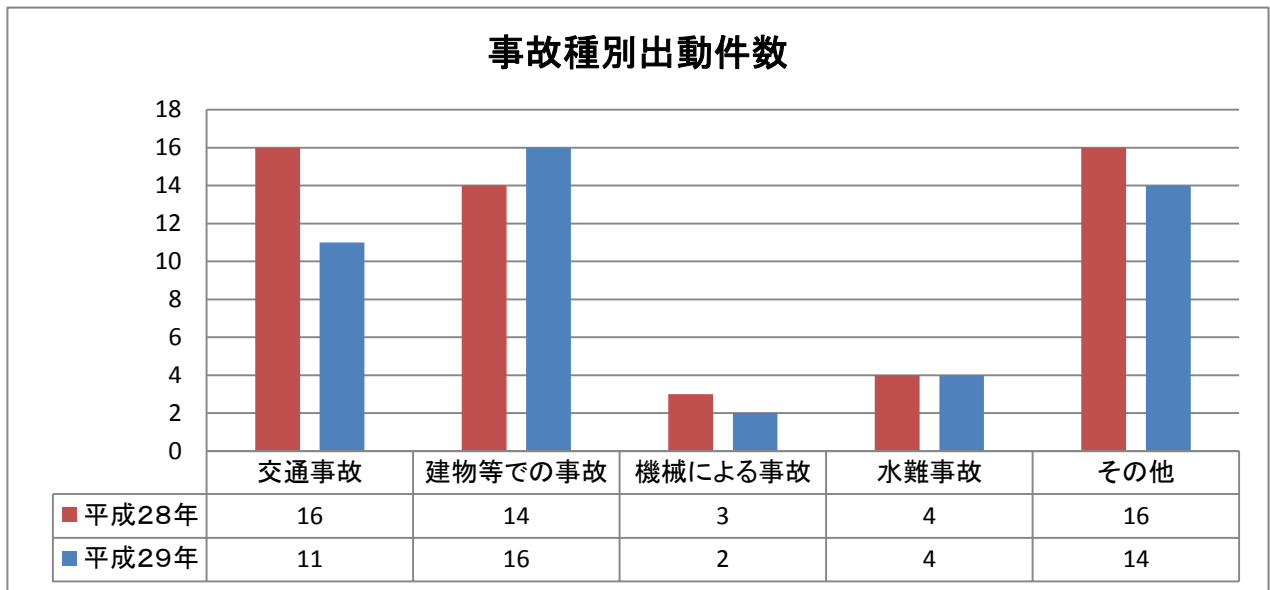
平成29年中の救助出動件数は47件で、前年と比べ6件(11.3%)減少している。  
なお、市町別の救助出動件数は、春日市17件、大野城市21件、那珂川町9件となっている。



## (2) 事故種別出動件数

事故種別では、建物等での事故16件(34.0%)及びその他14件(29.8%)が最も多く次いで交通事故によるものが11件(23.4%)、水難事故4件(8.5%)、機械による事故2件(4.3%)となっている。

前年と比べ建物等での事故2件増(14.3%増)、交通事故5件減(31.3%減)、機械による事故は1件減(33.3%減)、その他は2件減(12.5%減)、水難事故は増減なしとなっている。



## (3) 救助人員

平成29年中の救助人員は34人(4人減)で、交通事故6人(5人減)、建物等での事故13人(3人増)、機械による事故1人(1人増)、水難事故3人(1人増)その他11人(4人減)となっている。

